

Citizen activity information magazine

三浦市民生活向上会議会報

〒238-0102

神奈川県三浦市南下浦町菊名1258-3

三浦市総合福祉センター

電話 046-888-7347

発行：社会福祉法人三浦市社会福祉協議会

発行責任者：出口 道夫

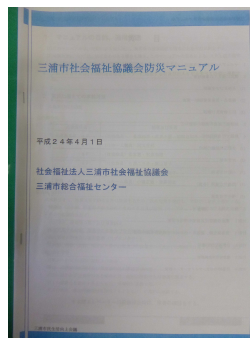
Vol.8

第一回福祉のまちづくり検討部会開催

去る十月二十四日、今年度第一回目となる福祉のまちづくり検討部会が開催されました。東日本大震災を契機に見直し、社協の行動計画として作成した防災マニュアルや災害ボランティアセンターの設置マニュアルについて報告、「意見をいただきながら、今後のまちづくり検討部会でのテーマについて委員の皆様にご意見をいただきました。

防災マニュアル・災害ボランティアセンター・マニュアルについて

三浦市社会福祉協議会のある総合福祉センターは、平成二十一年に三浦市と災害協定を結び、災害ボランティアセンターとしての役割を担っています。また、様々な福祉サービス事業を展開するとともに、不特定多数の市民が来所する拠点でもあります。一方三浦市では、東日本大震災を受け今年の六月に市民用の避難マニュアルを作成し全戸配布を実施しており、それら



防災マニュアル

を受けて、社協としてもいつ災害が起きても迅速な対応ができるよう、徹底した対策を行うためマニュアル作りを実施しました。今回のマニュアルは①担当する職員を実名で記載し、職員の共通認識を図る。②勤務時間外に災害が起ることを想定した、マニュアルと役割分担を明確に記載する。という2点をポイントにしながらか作成しまし



災害ボランティア拠点 総合福祉センター

た。飯島委員からは「実名入りのマニュアルは初めて見た。(センターを活用する) 私たちにとっても分かりやすい。」と意見をいただきました。また、小川委員からは「災害時ボランティアセンターの設置については規模に応じて行政と社協で設置するか否かを検討していかなければいけない」との補足説明がありました。



防災訓練の写真

から生まれる市民力を詳細に把握することも必要となるのではないだろうか。社協が開設する防災ボランティアセンターについては、市との協定により、開設する基準や、担うべき役割が明確になってきています。今回の議論から、今後部会にて話し合っていくべきことは、災害時の市民の行動計画になると感じました。

一方、ボランティアセンターの設置マニュアルでは、上野委員より「運営のタイムスケジュールが八時半から十七時半で

は間に合わないのではないか。」とのご意見がありました。一方で「現場で一番長く関わる地元職員が疲弊しないための対策」としてどこの市町村のマニュアルでも時間を決めることは共通しているといったお話もありました。

地域の支え合い関係づくりを進めるために……

福祉のまちづくり部会は「地域での支え合いづくり」をテーマに、これまで様々な視点から検討を重ねてきました。そして、これらは震災以降クローズアップされているテーマでもあるため、本部会では「災害」を切り口に「地域での支え合いづくり」をモデル的に検討していく必要があるのではないかと感じています。

委員それぞれの活動の中でも「災害や防災対策」に

ついては大きなテーマとして掲げられている一方で現段階ではそれぞれの団体(分野)が情報を共有していくという点には至っていません。各機関がバラバラに活動するのではなく、「地域」を単位にそれらの活動をリンクさせ生かすことが、「地域の支え合いづくり」につながっていくのではないのでしょうか。そして、その中でも最も具体的に明確な課題が「要援護者や社会的弱者」と称される方の支援です。

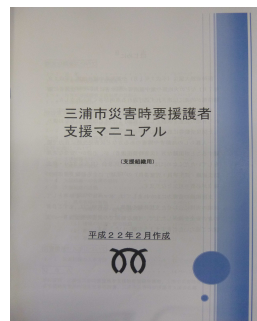
「要援護者支援」とは……?



会議風景

三浦市でも災害時要援護者登録制度を実施しておおきく近隣市町村と比較しても多くなっているそうです。災害時要援護者登録制度とは「必要な情報を迅速かつ的確に把握し、災害から自らを守るために安全な場所に避難するなどの災害時の一連の行動をとるのに支援を要する人に対して、支援組織が連携して支援する」制度で全国では様々な取り組みが行われています。しかし、笹谷委員からは「三浦市では要援護者と言っても、ある程度内容を精査しないと、登録者ばかりが増えて実際に支援する人がいなくなっている現状がある」といった意見も出ました。災害時要援護者は高齢者や障害者のみならず、妊産婦や乳幼児も考えられ、刻々と変化するものと考えられます。それらを踏まえると、①「要援護者」という定義そのものの見直し

終わりに……



三浦市が発行する
災害時要援護者支援マニュアル

また、今回の会議の中では委員の皆様からは「テーマが漠然としており、自分たちの役割が見出しづらく」といったご意見もいただきました。今回は事務局側の準備不足が否めない中での会議の開催となったため、事務局内で今回のご意見を参考にテーマをさらに焦点化し、次回以後、委員のみならずと議論していくこととなりました。

編集後記

▼福祉のまちづくりという視点をしっかりと踏まえ、今後、検討課題を整理し、テーマを絞り議論していきたいと思えます。(石渡)

▼今回のまちづくり部会事務局の不出手際があり、何をしない会議となってしまう。次回会議は、テーマを絞って内容の濃い会議になるよう努力したいと思えます。(湯浅)

▼一つ一つの課題を整理しながら、今後の議論を深めたいと思えます。(稲積)

次回は三浦市民生活向上会議全体会が、十一月十六日に開催されます。

